

チーム医療 GP



主催：筑波大学 地域貢献プロジェクト・

『地域医療の充実をコアにおいた、不整脈治療に関連するメディカルスタッフの教育』

共催：文部科学省大学改革推進事業「患者中心の医療を実践する人材養成の体系化」

『血管内治療チーム』

「不整脈を知る・第1回 市民公開講座」

心臓突然死への挑戦

開催案内

日時：平成25年10月20日(日)
13:00～15:00

対象者：不整脈やその治療に
関心のある方

参加費：無料（定員200名）

場所：つくば国際会議場2階
中ホール

*会場駐車場（裏面）をご利用の方には、駐車券をお渡しいたします。受付でお申し出ください。

お問合せ先

筑波大学附属病院 チーム医療教育推進室
E-mail: team.iry@un.tsukuba.ac.jp
電話：029-853-3520（担当：稲葉）

プログラム

司会：縮 恭一（筑波大学附属病院 医療機器管理センター）
梅津 努（筑波大学附属病院 看護部）

13:00【開会挨拶】 安島 良輝子
（筑波大学附属病院 看護部）

13:10～13:40 縮 恭一
【講演1】「不整脈のA・B・C」

13:40～14:10 梅津 努
【講演2】「チーム医療としての
不整脈治療の実際」

14:10～14:50
【特別講演】「不整脈治療の最前線！」
青沼 和隆
（筑波大学医学医療系教授(循環器内科)）

14:50 質疑応答・アンケート記入

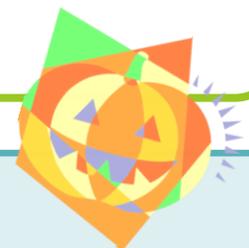
15:00【閉会挨拶】 坂元 雄介
（筑波大学附属病院医療機器管理センター）



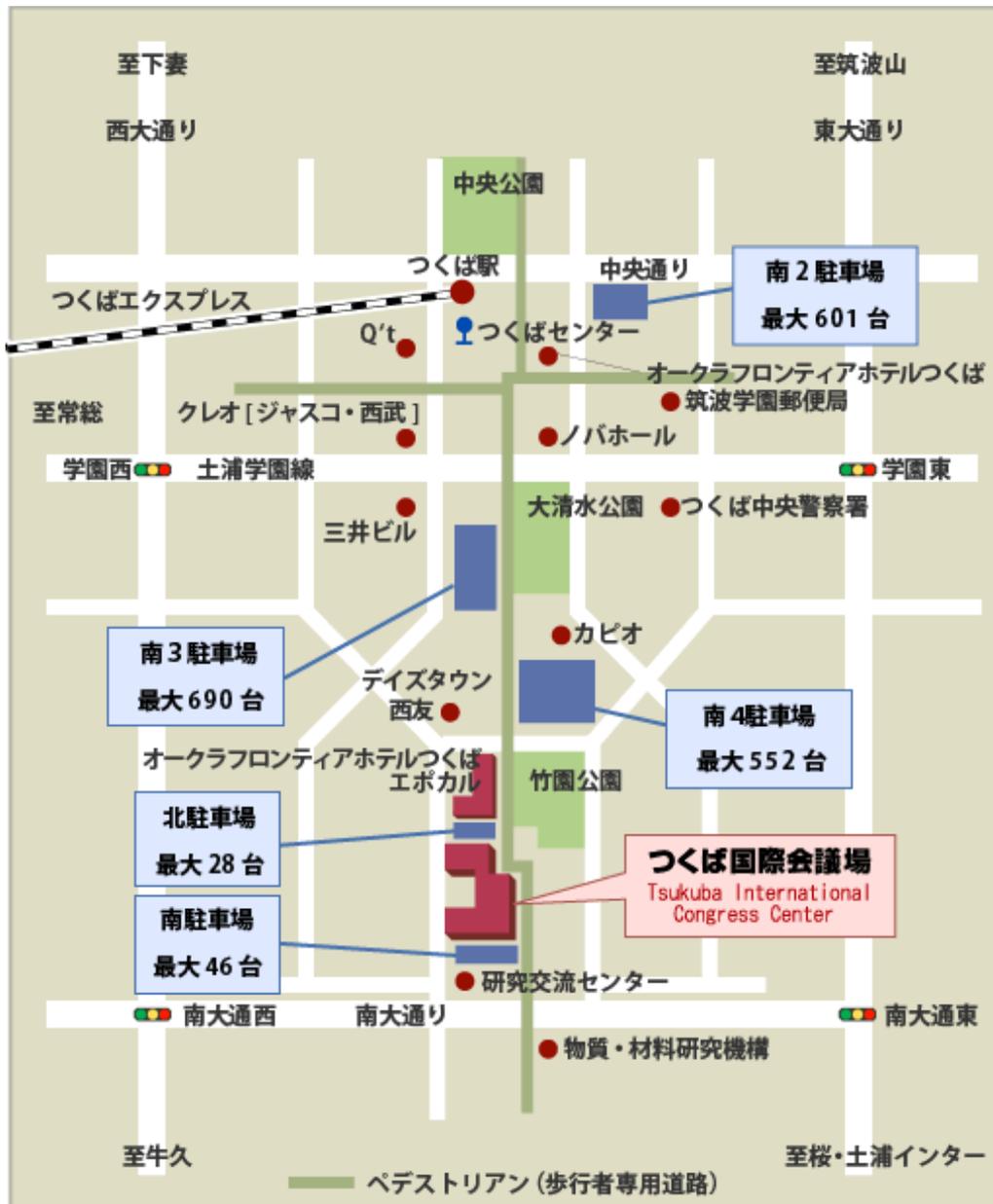
主催者から ～突然の事態に対応するために～

“不整脈”には、生命に危険を及ぼす重篤なものから身体に全く悪影響のないもの、動悸などの症状のため日常生活に差し支えるものから全く症状がないものまで様々です。これら様々な不整脈の治療法は、重症度や症状の程度によって決められます。重篤の不整脈には心室細動と呼ばれる不整脈があり、毎日180人を超える方が心臓突然死で亡くなっています。突然の心停止に陥った人を救うには、現場に居合わせた市民が素早くAED（自動体外式除細動器）を使って電気ショックを与えることがカギです。そこで、今回のテーマを「心臓突然死への挑戦！」とし、実際の生活の中で遭遇するかもしれない不整脈への対応を学びます。不整脈の症状についてもわかりやすい内容のお話をしたいと考えておりますので、是非、この機会をご利用いただき奮ってご参加下さい。

秋の日に、一緒に不整脈について学べることを楽しみにしております。



会場周辺地図・駐車場のご案内



つくば駅 A3 出口を出て、バスロータリーに沿って右に進み、階段を上り、遊歩道を直進およそ 800m。

(本周辺地図は、つくば国際会議場よりご提供いただきました)